

株主メモ

Stockholder Memo

事業年度	毎年2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月下旬
基準日	毎年1月31日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL https://www.ishiihyoki.co.jp/
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541－8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120－094－777（通話料無料）

【ご注意】

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せ下さい。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。



住 所 広島県福山市神辺町旭丘5番地
電 話 番 号 084-960-1247（代表）
F A X 番 号 084-960-1010
ホームページ <https://www.ishiihyoki.co.jp/>



第49期 報告書

2021年2月1日 ▶ 2022年1月31日

ORIGINALITY,

PASSION,

CHALLENGE.

高品質かつ低価格な製品をお客様に提供し、世界的な競争に勝ち抜くための基盤を構築してまいります。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当連結会計年度（2021年2月1日から2022年1月31日まで）の事業をご報告するにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなかでもワクチン接種等の政策によって経済活動の持ち直しに期待感が高まりましたが、新型コロナウイルスの変異株による感染再拡大、世界的な半導体等の部品不足、原材料価格の高騰など先行きにつきましては、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましても、新型コロナウイルス感染症により、国内外の移動制限に伴う営業活動の停滞など、引き続き事業活動へ影響を受けたものの、次世代通信規格「5G」市場および半導体向けのパッケージ基板の需要が拡大しており同分野での設備投資が増加したことや中国経済の拡大等により、前連結会計年度と比較して増収増益となりましたが、一方で半導体などの電子部品の供給不足、原油や天然ガスの価格高騰等生産活動の下振れリスクの高まりには十分注意する必要があります。

経済の先行きにつきましては、国内外ともに新型コロナウイルス感染症の影響は依然残り、原材料の価格高騰、調達の懸念も、当面続き不透明な状況が続くと予想されます。

このような経済環境のなか、当社グループは、感染症の対策を徹底し、さらなる事業の安定化と特定事業領域への依存からの転換を優先的に進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2022年4月

代表取締役会長兼社長 石井 峯夫

「独創的」な製品作りに情熱を持って「挑戦」し、会社と社員の永遠の幸福を目指します。

- 1 世界一の技術集団として永遠の成長を目指します
- 2 「人」を大切に、活躍の場を提供します
- 3 地域に根ざした企業活動を通じ、経済社会に貢献します

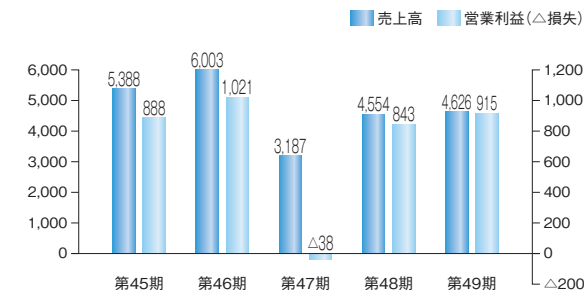


電子機器部品製造装置

売上高 前連結会計年度比
46億26百万円 1.6%

営業利益 前連結会計年度比
9億15百万円 8.4%

売上高／営業利益（△損失）（単位：百万円）

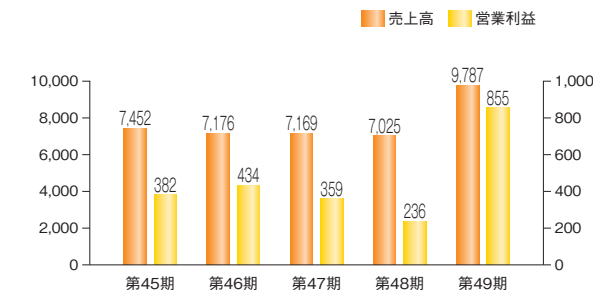


ディスプレイおよび電子部品

売上高 前連結会計年度比
97億87百万円 39.3%

営業利益 前連結会計年度比
8億55百万円 261.3%

売上高／営業利益（単位：百万円）



プリント基板分野

●前連結会計年度に続き次世代通信規格「5G」市場および半導体向けのパッケージ基板の需要が拡大し同分野での設備投資が増加したことなどから、前連結会計年度と比較し売上高は増加いたしました。

液晶関連分野

●液晶パネルの生産が高水準で推移し生産消耗品の販売は増加しましたが、インクジェットコーターの販売台数は減少したため、前連結会計年度と比較し売上高は減少いたしました。

その結果、売上高は46億26百万円（前連結会計年度比1.6%増）、営業利益は9億15百万円（前連結会計年度比8.4%増）となりました。



HS研磨機



インクジェットコーター



FBC研磨機



アクアクリーンシステム



水平搬送UP/DOWN方式 電気銅メッキ装置

[主要製品]

- HS研磨機
- FBC研磨機
- インクジェットコーター
- 極薄基板用研磨機
- 超音波洗浄機
- アクアクリーンシステム
- セラミックジェットスクラブ機
- 極薄基板用水洗乾燥機
- 水平搬送UP/DOWN方式 電気銅メッキ装置

自動車向け印刷製品

●新規顧客向けの生産が順調に推移し前連結会計年度と比較し売上高は増加いたしました。

工作機械および産業用機械分野

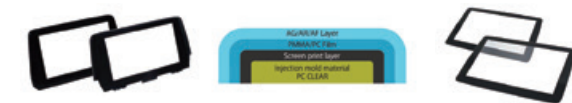
●半導体などの電子部品の供給不足による納期の長期化を見越した顧客からの先行発注の動きが増加するなか、部材調達先の拡大など生産体制維持に努めた結果、売上高は前連結会計年度と比較し増加いたしました。

その他

●JPN,INC.は、フィリピン国内において新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続くなかでも引き続き通常の生産体制を維持し顧客の需要増加に対応した結果、前連結会計年度に比べ増収増益となりました。上海賽路客電子有限公司についても、次世代通信規格「5G」、産業機械、家電製品などを中心に中国経済の回復傾向が続くなか、電子部品実装の需要が増加し前連結会計年度に比べ増収増益となりました。

その結果、売上高は97億87百万円（前連結会計年度比39.3%増）、営業利益は8億55百万円（前連結会計年度比261.3%増）となりました。

○オートモーティブ製品



○GOP液晶システム



○メンブレンスイッチパネル・ユニット製品

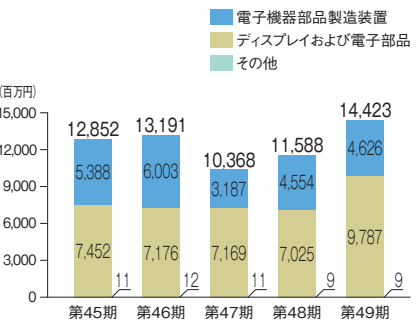


○シルク印刷・ラベル印刷・アルマイト銘板

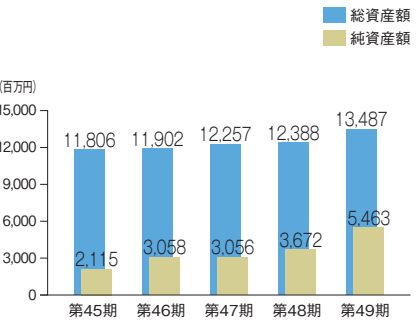


	第45期	第46期	第47期	第48期	第49期
売上高（千円）	12,852,900	13,191,893	10,368,079	11,588,490	14,423,708
営業利益（千円）	1,271,479	1,456,562	321,169	1,078,945	1,770,842
経常利益（千円）	1,279,684	1,464,555	212,467	1,069,725	1,731,031
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	1,216,803	1,056,155	105,274	726,854	1,490,743
純資産額（千円）	2,115,162	3,058,044	3,056,551	3,672,922	5,463,948
総資産額（千円）	11,806,803	11,902,907	12,257,259	12,388,300	13,487,001
1株当たり純資産額（円）	251.84	366.22	374.89	450.50	670.18
1株当たり当期純利益（円）	149.24	129.54	12.91	89.15	182.85
総資産当期純利益率（ROA）（％）	10.31	8.87	0.86	5.87	11.05

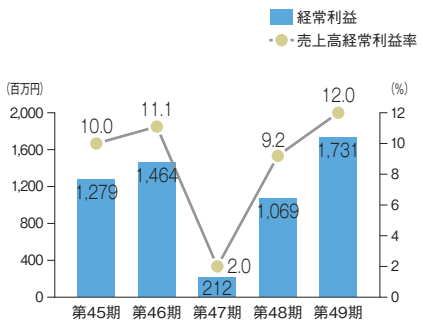
事業の種類別売上高



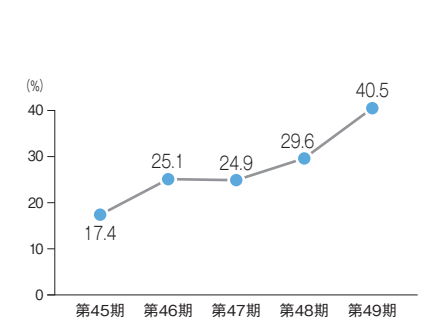
総資産額／純資産額



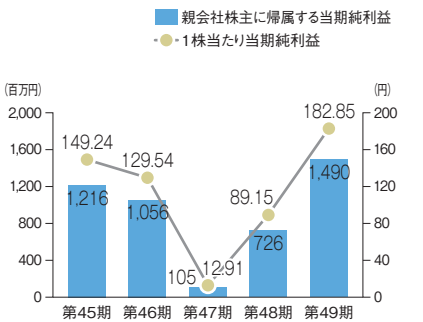
経常利益／売上高経常利益率



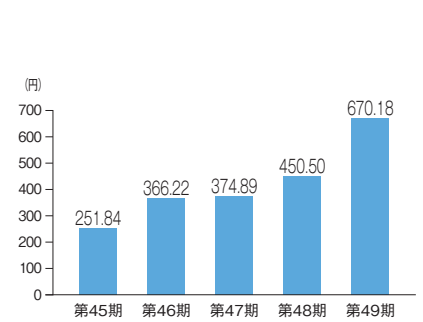
自己資本比率



親会社株主に帰属する当期純利益／1株当たり当期純利益



1株当たり純資産額



TOPICS

トピックス

CSR報告書の発行

2021年度よりCSR報告書を発行し、当社ホームページに掲載しております。

CSR報告書は、地域に根ざした企業活動を通じ経済社会に貢献することを理念とし、当社が果たすべき企業の社会的責任（CSR：Corporate Social Responsibility）に関する考え方や、「環境」「安全衛生」「社会」の側面からの活動内容をご紹介します。



環境面では、省エネや環境負荷の低減を、安全衛生面では、管理体制や安全衛生に関する取組みを、社会面では、当社が取組んでいる地域貢献活動などを中心に掲載しております。

SDGsへの関心とその必要性が高まるなか、当社グループの持続的な成長や企業価値向上と社会の持続可能な発展へ貢献する上での重要課題を特定し、CSRの取組みをより充実させていくことで、株主・投資家の皆様、地域社会の皆様などステークホルダーの皆様にご理解をいただくことを目的とし発行してまいります。

太陽光パネルの増設

CO₂削減の取組みとして、2022年1月に本社工場社屋の屋上に容量219kWの太陽光パネルを増設いたしました。

当社は2007年に200kWの太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーを活用しておりましたが、昨今、気候変動が深刻化し脱炭素経営が求められていること、ESG投資が拡大していること等を踏まえ、この度、太陽光パネルを増設することといたしました。

今後も、些細なことでも当社ができる活動を積み重ね、地域・社会へ貢献できるよう取組んでまいります。



連結貸借対照表			(単位：千円)		
科 目	当期末 (2022年1月31日現在)	前期末 (2021年1月31日現在)			
(資産の部)					
流動資産	8,146,830	7,045,151			
固定資産	5,340,171	5,343,148			
資産合計	13,487,001	12,388,300			
(負債の部)					
流動負債	6,747,047	5,007,039			
固定負債	1,276,005	3,708,337			
負債合計	8,023,053	8,715,377			
(純資産の部)					
株主資本	5,472,429	4,063,281			
資本金	300,000	300,000			
資本剰余金	1,107,799	1,107,799			
利益剰余金	4,084,816	2,675,602			
自己株式	△ 20,186	△ 20,120			
その他の包括利益累計額	△ 8,480	△ 390,359			
① 純資産合計	5,463,948	3,672,922			
負債純資産合計	13,487,001	12,388,300			

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

① 純資産
当社において剰余金の配当を81百万円実施したものの親会社株主に帰属する当期純利益を14億90百万円計上し、利益剰余金が14億9百万円増加したこと、為替換算調整勘定が3億76百万円増加したことなどから前連結会計年度末に比べ17億91百万円増加いたしました。この結果自己資本比率は10.9ポイント増加し40.5%になりました。

Consolidated Financial Statements		
連結損益計算書		
	(単位：千円)	
科 目	当期 (2021年2月 1 日から 2022年1月31日まで)	前期 (2020年2月 1 日から 2021年1月31日まで)
② 売上高	14,423,708	11,588,490
売上原価	10,467,696	8,481,835
売上総利益	3,956,012	3,106,655
販売費及び一般管理費	2,185,169	2,027,709
② 営業利益	1,770,842	1,078,945
営業外収益	96,801	130,127
営業外費用	136,612	139,347
② 経常利益	1,731,031	1,069,725
特別利益	9,706	4,881
特別損失	16,195	48,532
税金等調整前当期純利益	1,724,542	1,026,074
法人税、住民税及び事業税	231,012	79,061
法人税等調整額	2,787	220,158
② 当期純利益	1,490,743	726,854
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,490,743	726,854

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

② 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益
当社において増収増益となったことに加え、連結子会社のJPN, INC.では印刷量産製品の需要が拡大し、上海賽路客電子有限公司でも中国経済の拡大が続き電子部品実装需要が増加したことなどから前連結会計年度と比べ増収増益となりました。

個別貸借対照表			(単位：千円)		
科 目	当期末 (2022年1月31日現在)	前期末 (2021年1月31日現在)			
(資産の部)					
流動資産	3,826,571	4,138,484			
固定資産	5,108,555	5,262,310			
資産合計	8,935,126	9,400,794			
(負債の部)					
③ 流動負債	5,148,131	3,912,562			
③ 固定負債	794,503	3,301,461			
③ 負債合計	5,942,635	7,214,023			
(純資産の部)					
株主資本	2,998,965	2,196,744			
資本金	300,000	300,000			
資本剰余金	1,068,072	1,068,072			
利益剰余金	1,651,078	848,792			
自己株式	△ 20,186	△ 20,120			
評価・換算差額等	△ 6,474	△ 9,973			
その他有価証券評価差額金	△ 6,474	△ 9,973			
純資産合計	2,992,490	2,186,771			
負債純資産合計	8,935,126	9,400,794			

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

③ 流動負債、固定負債、負債合計
シンジケートローン契約の期日が2022年5月に到来するため、当該契約の借入金残高をすべて流動負債に計上したことなどから、前事業年度末に比べ流動負債が12億35百万円増加し、固定負債が25億6百万円減少しております。当該契約の借入金残高は当事業年度において10億円減少しております。また、当社と取引金融機関との関係は安定的に推移しており、早期に借り換えに合意する予定であります。

個別損益計算書			(単位：千円)
科 目	当期 (2021年2月 1 日から 2022年1月31日まで)	前期 (2020年2月 1 日から 2021年1月31日まで)	
売上高	7,341,709	7,033,353	
売上原価	5,001,030	4,924,685	
売上総利益	2,340,678	2,108,668	
販売費及び一般管理費	1,635,139	1,532,662	
営業利益	705,539	576,005	
営業外収益	277,778	249,891	
営業外費用	85,887	95,368	
経常利益	897,430	730,529	
特別利益	—	3,358	
特別損失	12,119	84,410	
税引前当期純利益	885,310	649,477	
法人税、住民税及び事業税	125,901	56,559	
法人税等調整額	△ 124,406	169,379	
当期純利益	883,816	423,538	

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

④ 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益
前事業年度に続きプリント基板分野で次世代通信規格「5G」市場および半導体向けのパッケージ基板の需要が拡大し同分野での設備投資が増加したこと、自動車向け印刷製品が増加したことなどから、前事業年度と比較し売上高は増加いたしました。利益面も売上高の増加に加え、繰延税金資産を計上したことなどから前事業年度と比べ増益となりました。

会社の概要

Corporate Data

(2022年1月31日現在)

商号	株式会社石井表記
設立	1973年4月
資本金	300,000,000円
本社	広島県福山市神辺町旭丘5番地
営業所	東京支店（東京都板橋区） 千葉営業所（千葉県市川市） 横浜営業所（神奈川県川崎市） 名古屋営業所（愛知県一宮市） 大阪営業所（大阪府吹田市） 滋賀営業所（滋賀県草津市） 明石営業所（兵庫県明石市） 広島営業所（広島県安芸郡）
従業員数	319名（連結 663名）
関係会社	国内 株式会社CAP 海外 JPN, INC.（フィリピン） ISHII HYOKI (SUZHOU) CO.,LTD.（中国） 上海賽路客電子有限公司（中国）

取締役および監査役（2022年4月26日現在）

代表取締役会長兼社長	石井 峯 夫
取締役副社長	渡邊 伸 樹
専務取締役	平坂 晋 二
常務取締役	山本 晋 宏
取締役	松井 忠 則
取締役（社外）	石井 裕 工
取締役（社外）	本 田 祐 二
常勤監査役	貝 原 睦 規
監査役（社外）	森 末 辰 彦
監査役（社外）	松 岡 清 史



ホームページのお知らせ

<https://www.ishiihyoki.co.jp/>

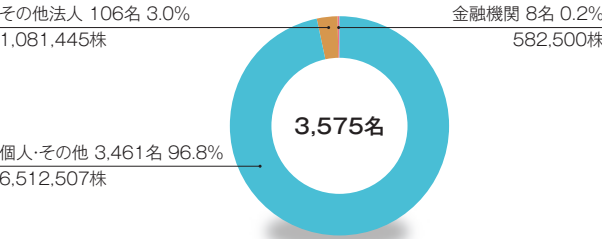
ホームページにアクセスしていただきますと、
当社の各種情報をご覧いただけます。

株式の状況

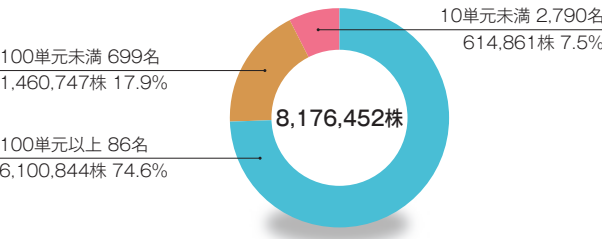
Stock Information

(2022年1月31日現在)

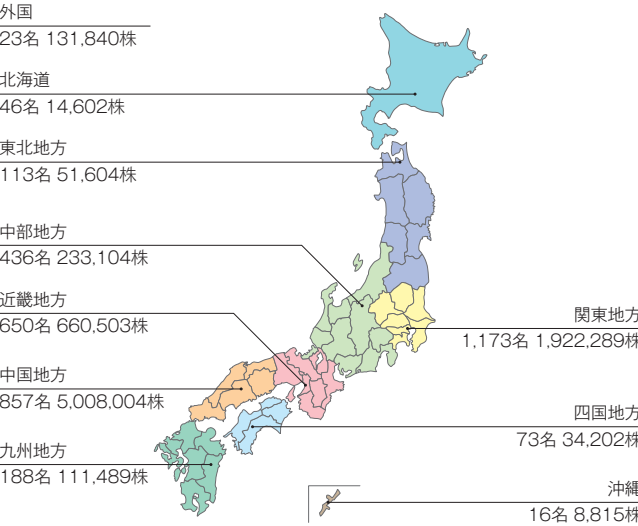
所有者別株主分布状況



所有株式数別株式分布状況



地域別株式分布状況



発行可能株式総数	31,644,909株
発行済株式総数	8,176,452株
株主数	3,575名

大株主（上位10名）

株主名	所有株式数	持株比率
石井 峯 夫	1,908,446 株	23.41 %
石井 敏 博	615,000	7.54
イシイヒョーキ従業員持株会	551,766	6.77
石井 幸 蔵	167,060	2.05
石井 博 幸	161,380	1.98
株式会社三菱UFJ銀行	144,000	1.77
石井 朋 子	138,240	1.70
松井証券株式会社	138,200	1.70
大和証券株式会社	126,000	1.55
株式会社広島銀行	110,000	1.35

（注）持株比率は自己株式（23,501株）を控除して計算しております。